

# 三中だより

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日子の 光のうちに  
玉も白たま より来る岸辺 望みあふれて いそしみはげむ  
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び

人と協働して

貢献できる生徒の育成



令和4年9月27日 第6号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

## 生徒が育つ体育祭

校長 濱野 裕之

9月4日、爽やかな晴天の下、三崎中学校体育祭が行われました。大会スローガン「～今の自分の最大の力を！～絆は最強！みんなで輝け！」を体現できた体育祭であったと思います。

体育祭後の生徒の振り返りの中には、次のような言葉がありました。

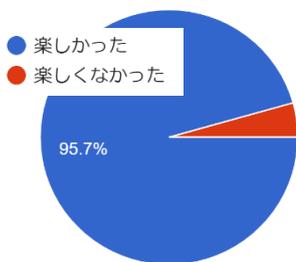
体育祭を終えて、3年間一度も総合優勝やよさこい最優秀賞はとれず、くやしかったけど、とても楽しかったです。

悔しさの中に、楽しさを感じられる体育祭。振り返りの最後には、次のような言葉もありました。

赤団は最初、息がなかなか合わず・・・あせっていました。8月後半、体育祭が近づくにつれて腰も低くなり、声も出てきて一体感が出てきました。すごくうれしかったです。結果は負けてしまったけど、仲間や先生方、保護者の方々がいて、この最高の体育祭ができたことに感謝し、これからも努力し続けたいと思います。

勝ち負けを超えて、悔しさの中に、楽しさを感じる体育祭にできたのは、なぜなのか？その答えは、体育祭のアンケートに見ることができました。

### 【体育祭は楽しかったですか？】



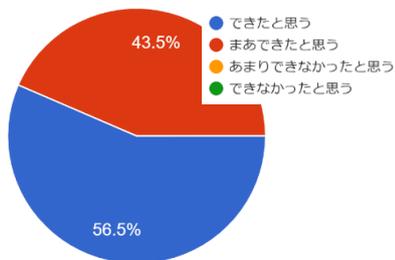
- ・団のメンバーと協力しあって頑張れたし、笑顔でやりきれたから。
- ・みんなとたくさん関わって、一人じゃなかったから
- ・団関係なく応援しあって、みんなで協力することが出来たから。
- ・一致団結して勝つこともでき言い表せないような達成感を味わえたから。
- ・笑顔が溢れていたから すべての競技に本気で挑めたと思うから
- ・自分の成長に繋がったから。
- ・よさこいでは中々揃わなかった振り付けも本番までには揃う様になったから。

答えの1つ目は、達成感や成長の実感、一体感です。

勝ち負けを超え、団に関係なく、互いを笑顔で応援し合う仲間。その仲間と息を合わせて踊ることができた一体感。それが自分の成長に繋がっているという達成感や実感こそが三中体育祭を支えているのだと思います。

答えの2つ目は、自主性や主体性を生かした運営です。

### 【生徒主体で進められましたか？】



### 【体育祭で自分が成長できたところは？】

- ・練習や、準備などで、積極的に動くことなどが成長できたと思います。
- ・他の人の行動にすごいなと思ったり頑張っているなと思ったりして、自分も頑張ろうと思えたこと。
- ・よさこいでは、振り付けを大きく見せる工夫を教え合ったり、動画を見て改善点を考えたりすることができた。
- ・周りを見て自分が今何をすべきか考え、行動できたところ。
- ・体育祭をやる前より自分の意見を言えるようになったと思います。

競技や演技は、生徒主体で企画運営されます。教師は前面にできることを控え、支援にまわります。このことが生徒自身が体育祭を創っているのだという実感を生みます。もちろんトラブルや不安はあります。しかし、この壁も本番当日の達成感や充実感に繋がっているのだと思います。

生徒主体の取組を継続していくことは、なかなか難しいことですが、今後も、生徒主体の学びを実現できるよう取り組んでいきたいです。

## 第73回三中体育祭

三中体育祭は、今年度も、手洗いと消毒の徹底をし、生徒たちが考えたコロナウィルス感染症対策を講じた競技を行いました。制限がある中でしたが、3年生を中心に取り組み、生徒の絆が深まるものとなりました。



海鳴ソーランでは、大会スローガにふさわしく、赤団・青团とも素晴らしいパフォーマンスを繰り広げ、最大の力を出し切りました。来賓の方々からも、「素晴らしい体育祭だった。」という感想をいただきました。

今までで一番心に残った体育祭でした。理由は2つあります。1つ目は、団長として団をまとめられたことです。もちろん全部ではないし、青团のみんなのおかげだけど、最初から最後までみんなのリーダーとしてやりきれたことがうれしかったです。2つ目は、海鳴ソーランを楽しんで踊り、最高のものにできたことです。生徒全員の思いが詰まった体育祭でした。

青团団長3年 畠田 煌心

中学生最後の体育祭を終えて心に残ったことは2つあります。1つ目は海鳴ソーランです。自分は、赤団の団長になって、初めての練習で上手くまとめることができず、本番がとても不安だったけれど、全員が声も動きも大きく、上手く踊れてうれしかったです。

2つ目はリレーです。アンカーを任せられ「今年こそ。」と思ったのですが、勝つことができず、とても悔しかったです。

赤団団長3年 泉 波夏斗



迫力のある演技と声で観客を魅了した青团

繊細な演技と動きで観客を感動させた赤団



『保護者と生徒の全員がつながり、みんなで盛り上げる体育祭にしたい』『生徒たちを元気づけたい』という、育友会の方々の思いから、「親子ニコニコ継走」という競技を行いました。親子がペアとなって、それぞれ工夫をしながら50mを走りました。交代して背負い合う親子、仲良くスキップをする親子と思い思いのパフォーマンスをしながら走り、楽しい時間を過ごすことができました。

また、保護者の方々には、コロナウィルス感染症予防のための受付や後片付けなどのご協力をいただきました。どうもありがとうございました。



慶応義塾大学3年生の安宅佑亮さんをお迎えして、キャリア教育講演会を行いました。安宅さんは、珠洲市出身の方で、小学校と中学校は珠洲で学びました。今回は小学校・中学校・高等学校で学んだこと、その時々で考えたことをもとに話をされました。中学校3年生の時に、講演会で話を聞いたことに心を動かされ、「実際に自分の目で見て確かめたい。」という思いで、単身フィリピンのスカベンジャーの方々との交流ボランティアに参加した経験もあり、「当たり前だと思っていることを疑うことで、視野を広げたり深めたりすることができる。」というお話でした。生徒のみなさんは、講演後、積極的に質問するなど、興味をもって聞くことができました。



「身の回りのことに興味を持ち、そのことについて調べると、また疑問がどんどん出てくるので、世界が広がっていく」という話が心に残りました。自分で限界を決めずにいろんなところに行ってみて、どんどん世界を広げていきたいと感じることができました。

1年 瀬戸 愛生

とても興味深いお話をたくさん聞くことができました。「疑う力も大事だけど、信じる力も大事」という言葉が心に残りました。日常生活の中で、「当たり前」をそのまま受け入れるのではなく、好奇心につながるように疑ってみたりしたいです。

2年 前 結音

心に残ったことは、「当たり前」に疑問を持つということです。いろいろなことに疑問を持つことで、好奇心につながり、自分の世界が広がっていくというお話を聞いて、これからの自分の人生に生かしていきたいなと思いました。

3年 新川 純冬



一番印象に残ったのが、常識を疑うことの大切さです。普段から「当たり前って何だろう？」と考えることはありましたが、深く考えずに流していました。しかし、今日の講演を聞いて、普段から「当たり前がなぜ当たり前なのか」を考えることが大切なのだと思うことができました。

3年 高野 大和

## 10月の行事予定

1日（土）	科学の甲子園ジュニア石川県大会
3日（月）	避難訓練（不審者対応）
6日（金）	ドコモスマホ・ケータイ安全教室（6限）
8日（土）	第3回学校運営協議会（14:00～） 全能登新人テニス大会（和倉）
11日（火）～13日（木）	修学旅行（3年生）
13日（木）	体験学習（1・2年生）
15日（土）	全能登新人バスケットボール大会
16日（日）	（輪島サンアリーナ）
16日（日）	県新人相撲大会
19日（水）～20日（木）	中間テスト
21日（金）	古典芸能鑑賞教室（午後）
22日（土）	青年福祉委員会主催 中学生グラウンドゴルフ大会
25日（火）	合同学習（あさひこ学級）
31日（月）	学校安全総合支援事業（防災）



## ご芳志ありがとうございます

四十住 基子前校長先生より  
生徒全員に『スポーツドリンク』  
高堂 真由美 先生より  
生徒全員に『ゼリー』  
おいしくいただきました。

飯田高校の3年生4名が来校し、高校の総合的な学習の時間に行った探究課題の成果を発表しました。防災に関するアンケート調査の結果から、珠洲市の方々は、地震に対する備えは必要だと感じているものの、具体的な取組をしている方が少ないので、私たち高校生が呼びかけなければならないということを訴えました。また、グループワークでは、「地震対策として自分の家で取り組んでいること」「今後取り組みたいこと」について話し合いました。三生生からは、意見や質問も多く出され、学びの多い講演会となりました。

最近、地震が多く、揺れていても慣れてしまい、避難行動をしないことが多いので、やっぱり危ないのだなと思い、気をつけようと思いました。震度6弱のときは、タンスや棚の上に乗っていたものが全て落ちて、ぐちゃぐちゃでした。そこに人がいたら...と思うと怖いので、家具は固定しようと思いました。

1年 畠田 彩羽



地震が起きたときに、メディアの確認はしていたけど、大丈夫だろうと思ってあまり行動を起こしませんでした。今日の講演会で、自分たちにもできる対策がたくさんあることに気づきました。例えば、食料の用意や家具の固定、家族と話して呼びかけることです。自分が意識することで家族も意識してくれると聞いたので、積極的に行動したいです。 2年 高木 千穂

地震に慣れてしまい、震度4の地震でも何も思わなかったのだけれど、今回の学習会を通して、地震への考えが変わりました。寝ている時に地震で棚などが倒れてきたら危ないなと思いました。自分の家では、地震への対策をしていないので、家族と一緒に地震対策をしたいと思います。

1年生 松井 颯志



まだまだ地震の対策には、不足があると気づくことができました。具体的には、家族とどこへ避難するか、離れ離れになったとき、どのようにして連絡をとるのかをもう一度、話し合いたいです。地震が多発して不安なところもありますが、しっかり防災対策をして、安全に過ごせるようにしたいです。

3年 青坂 莉奈

自分は地震とかどうでもいいと思っていたけど、今日の講演会で学習して、対策をしたいと思いました。具体的には、津波が来た時に逃げる場所を家族で決めたいです。大きな地震が起きたときのため、今日の話を生かして対策をしたいです。

2年 泉 心翔

学校では避難訓練をしているので、ある程度は、するべき行動がわかるけど、家での避難の仕方などはわからないので、家の人と話し合いたかったです。そして、地震が起こった後に被害が大きくなるように、家具の固定などをしたいと思いました。

3年 干場 蓮司

## 受賞 おめでとう！

### ★珠洲市児童生徒理科研究作品展

入選：高木 千穂・権元 沙耶・谷内 未華子

### ★中学生サイエンスチャレンジ（3人1チーム）

金賞：瀬戸 愛生・畠田 彩羽・干場 湧仁

### ★奥能登新人バスケットボール大会 第3位

### ★奥能登新人相撲大会

個人の部 第3位：干場 湧仁